

コンピュータ演習 第13回

第12回から第15回までの授業では、「総合的な演習」に取り組みます。

第12回	映像的なプレゼンテーションの作成(1)
第13回	映像的なプレゼンテーションの作成(2)
第14回	プレゼンテーションの相互評価
第15回	相互評価の結果の集計、まとめ

今回は、前回（第12回）に引き続き、映像的なプレゼンテーションを制作します。

- プレゼンテーションソフトを使って、映像作品を作成しましょう。
- 「情報倫理」を題材に、ストーリー性のある内容で、注意をうながすことを目的にします。
- 「リハーサル機能」を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. スライドショーを自動的に再生する
 - [リハーサル機能\(第9回の復習\)](#)

今回の課題

- 課題: [情報倫理を啓発するプレゼンテーションの作成\(前回からのつづき\)](#)
 - プレゼンテーションの作成
 - 評価のポイント

リハーサル機能

- マウスやキーボードを操作しなくても、アニメーションやスライドの切替が自動的に行われるように設定できます。
- 指定した時間で、スライドの切替やプレゼンテーションが実行されるように設定できます。

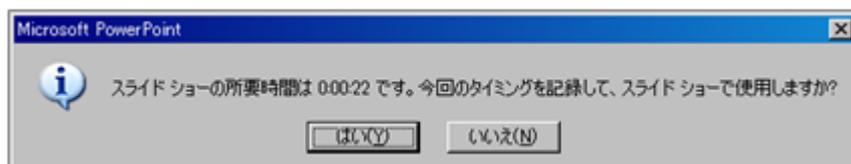
スライドショーのリハーサル

「リハーサル」を実行すると、マウスをクリックしたタイミングが記録され、スライドショーを実行したときに、自動的にスライドショーが進みます。この設定は何回でもやりなおしができるので、じっくりと設定してください。

1. 「スライドショー」タブの「設定」メニューの、「リハーサル」をクリック
2. リハーサルが開始され、操作が記録される
 - 画面の左上にタイマーが表示される(中央:そのスライドの再生時間、右:スライドショー全体の再生時間)

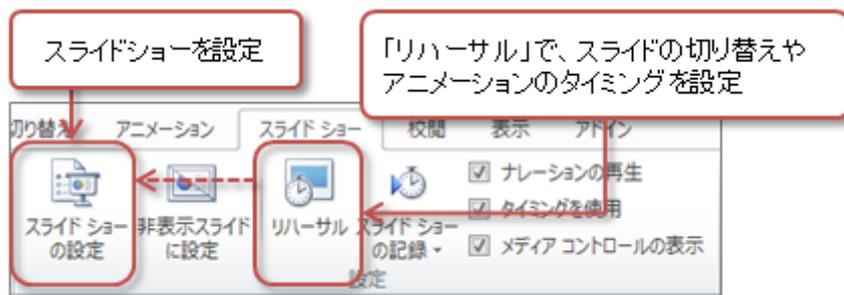


3. リハーサルが終わると、確認の画面が表示される
 - 設定する場合は「はい」をクリック

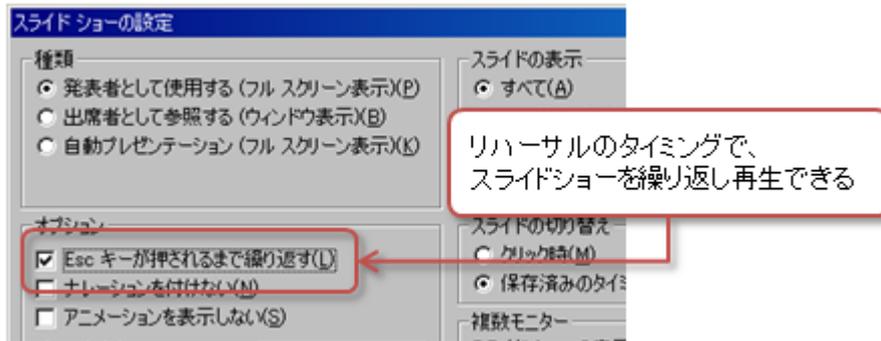


リハーサルのあとのスライドショーの設定

リハーサル機能で、タイミングを設定したら、その設定で繰り返しスライドショーを行うように設定します。



1. 「スライドショー」タブの「設定」メニューの、「スライドショーの設定」をクリック
2. 「オプション」に中の「Escキーが押されるまで繰り返す」をチェック



3. 右下の「OK」ボタンをクリック

第13回の課題：情報倫理を啓発するプレゼンの作成

課題の内容

前回に引き続き、「情報倫理の選択したテーマに関するプレゼンテーション」を作成します。

プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報倫理を訴えるということです。

作品には、次のようなルールを決めておきます。

1. 視聴対象は、高校生から大学生(10歳後半～20歳前半ぐらい)
2. スライドの枚数は、6枚以上(多くても8枚まで)
3. スライドの構成は、場面ごとに考える
 - 第1場面:表紙(タイトル、学籍番号、氏名:スライド1枚)
 - 第2場面:起承転結の「起」
 - 第3場面:起承転結の「承」
 - 第4場面:起承転結の「転」
 - 第5場面:起承転結の「結」
 - 第6場面:まとめ(スライド1枚)
4. プレゼン全体を、「30～60秒程度」で再生する
 - スライドショーを自動的に実行する「リハーサル機能」(第9回で説明済み)を設定すること
 - 見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる

課題の評価のポイント

次回の授業では、自分の作品を自己評価するとともに、他の学生の作品を評価(相互評価)する予定です。

評価するポイントは次の6つです。あらかじめ評価するポイントに注意して、作品を作成しましょう。

- (1) 色づかいやフォントの種類などが統一されているか?
 - 文字色や図形の色に、プレゼン全体で統一感があるか
 - 使われているフォントや文字サイズに、プレゼン全体で統一感があるか
- (2) 図形や文字などが見やすく配置されているか?
 - 読みやすい文字の大きさか、図形やクリップアートが小さすぎない(大きすぎない)か
- (3) アニメーションやスライドの切り替えが見やすくなっているか?
 - アニメーションや切り替えの速度・タイミングが早すぎない(遅すぎない)か
- (4) ストーリーが選択されたテーマと一致しているか?
 - テーマに合った現実的な話か
- (5) 最後のスライドに対処や注意点がわかりやすく書かれているか?
 - 内容が具体的でわかりやすいか、正しい情報か
 - 文章が箇条書きか、インデントが適切に設定できているか
- (6) 全体として高校生・大学生1年にとって役立つ内容にまとまっているか?
 - 難しすぎないか、やさしすぎないか

ファイルの保存と提出(1)

今回は、授業担当者が評価する「**提出用ファイル**」と、相互評価で用いる「**評価用ファイル**」の2つのファイルを作成してもらいます。

提出用ファイルの保存

まず、提出用ファイルを保存します。

1. メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」をクリック
2. 保存する場所に「マイドキュメント」を設定
3. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)
 - 例:学籍番号がH2131000の場合、ファイル名は「情報倫理h2131000.pptx」
4. 「保存」ボタンをクリックして、ファイルに保存

提出用ファイルの提出

保存できたら、eラーニングのシステムにアップロードして、課題を提出します。

1. 『第13回の課題』をクリック
2. 「参照」ボタンをクリックして、ファイルの一覧を表示
3. 保存した提出用ファイル(拡張子に注意!)をクリックして選択した後、「開く」ボタンをクリック
4. 「ファイルをアップロードする」ボタンをクリックし、「ファイルが正常にアップロードされました」と表示されたら提出完了

ファイルの保存と提出(2)

次に、相互評価で用いる、評価用ファイルを保存・提出します。

作品への自己評価

制作した自分の作品を評価します。評価シートを用いて、次の手順で行ってください。

- 6つの評価ポイントに対して、それぞれ 1～5点の 5段階で評価する
- ポイントごとの評価点とその合計点(30点満点)を計算し、評価シートに記入する
- 合計点をもとに、作品のレベルを判断して、結果を記入する
 - レベルA : 25点以上
 - レベルB : 24～20点
 - レベルC : 19～15点
 - レベルD : 14点以下

評価用ファイルの保存

1. メニューから「ファイル」 「保存と送信」をクリック
2. ウィンドウ中央の「保存と送信」の一覧から、「**ファイルの種類の変更**」をクリック
3. ウィンドウ右側の「**ファイルの種類の変更**」の一覧から、「PowerPointスライドショー(*.ppsx)」をダブルクリック
4. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.ppsx」を設定(半角文字で)
 - 例:学籍番号がH2131000の場合、ファイル名は「情報倫理h2131000.ppsx」
5. 「保存」ボタンをクリックして、ファイルに保存

評価用ファイルの提出

つづいて、評価用ファイルも提出します。eラーニングの掲示板機能を利用します。

1. 『制作したプレゼンテーションの提出・閲覧』をクリック
2. 自分の選択したテーマのトピック(専用の場所)をクリック

3. 一番上の授業担当者の記事にある「返信」をクリック

- 「題名」は、自分の学籍番号と氏名、括弧の中に自己評価レベル(A、B、C、Dのいずれか)を入力する
 - 例)X2131000 兵庫太郎 (B)
- 「メッセージ」の入力欄に、ストーリーの紹介文(2行程度)と作品のアピールポイント(工夫したところや苦労したところなど)(2行程度)を入力する
- 「添付ファイル」の「参照」ボタンをクリックして、ファイルの一覧を表示したあと、評価用ファイルを選択する

4. 「メッセージ」と「添付ファイル」を設定して、「フォーラムに投稿する」ボタンをクリックしたら提出完了

課題の期限

- 原則として、今回の授業終了までとします。
 - もし間に合わない場合は、事前に授業担当者に連絡すること。
- もし提出が遅くなっても、必ず提出すること(ただし成績に影響する場合があります)。